

社会資本総合整備計画

平成30年 1月31日

計画の名称										木更津市における下水道整備による良好な環境の実現					重点配分対象の該当										
計画の期間										平成28年度～平成29年度(2年間)					交付対象		木更津市								
計画の目標										下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。															
計画の成果目標(定量的指標)																									
①下水道処理人口普及率を195ha整備することで、51%(H28)から56%(H32)に増加させる。 ④木更津下水処理場の分流汚水主ポンプ能力を現有40m <sup>3</sup> /minから100m <sup>3</sup> /minに増加させる。																									
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値					備考										
										当初現況値 (H28当初)		中間目標値 (H30末)		最終目標値 (H32末)		当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。									
①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)/総人口(人) 総人口固定:住民基本台帳人口 133,049人(平成27年4月1日現在)										51%		54%		56%											
④木更津下水処理場の分流汚水主ポンプ能力 揚水能力(m <sup>3</sup> /min)/全体計画の揚水能力(100m <sup>3</sup> /min)										40%		40%		100%											
全体事業費		合計 (A+B+C+D)		1,504.9百万円		A		1,504.9百万円		B		-		C		-		D		-		効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)		0.0%	
交付対象事業																									
A1 下水道事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益費	個別施設計画策定状況	備考						
											H28	H29	H30	H31	H32										
A1-1-2	下水道	一般	木更津市	直接	-	汚水	新設	清見台1号幹線枝線整備(未普及解消)	φ200 A=15.2ha	木更津市						344.1	-	-							
A1-1-4	下水道	一般	木更津市	直接	-	汚水	新設	貝渕幹線枝線整備(未普及解消)	φ200 A=5.6ha	木更津市						127.1	-	-							
A1-1-5	下水道	一般	木更津市	直接	-	汚水	新設	烏田1号幹線枝線整備(未普及解消)	φ200 A=2.0ha	木更津市						45.4	-	-							
A1-1-6	下水道	一般	木更津市	直接	-	汚水	新設	岩根4号幹線枝線整備(未普及解消)	φ200 A=7.6ha	木更津市						173.4	-	-							
A1-1-7	下水道	一般	木更津市	直接	-	汚水	新設	金田1号幹線枝線整備(未普及解消)	φ200 A=8.2ha	木更津市						186.1	-	-							
A1-1-8	下水道	一般	木更津市	直接	-	汚水	新設	金田西特定土地区画整理事業面整備(未普及解消)	A=20.6ha	木更津市						616.8	-	-							
A1-1-9	下水道	一般	木更津市	直接	-	処理場	増設	木更津下水処理場主ポンプ増設(未普及解消)	P×1台(30m <sup>3</sup> /min)	木更津市						12.0	-	-							
合計																1,504.9	-	-							
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益費	個別施設計画策定状況	備考						
											H28	H29	H30	H31	H32										
合計																	-	-							
C 効果促進事業(該当なし)																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考								
											H28	H29	H30	H31	H32										
合計																									
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業(該当なし)																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考								
											H28	H29	H30	H31	H32										
その他関連する事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考								
											H28	H29	H30	H31	H32										
A'1-1-1	下水道	一般	木更津市	直接	-	汚水	新設	清見台5号幹線整備(未普及解消)	φ200~250 L=1.3km	木更津市						20.0									
A'1-1-2	下水道	一般	木更津市	直接	-	汚水	新設	清見台1号幹線枝線整備(未普及解消)	φ200 A=22.7ha	木更津市						516.2									
A'1-1-3	下水道	一般	木更津市	直接	-	汚水	新設	清見台5号幹線枝線整備(未普及解消)	φ200 A=7.7ha	木更津市						20.0									
A'1-1-4	下水道	一般	木更津市	直接	-	汚水	新設	貝渕幹線枝線整備(未普及解消)	φ200 A=5.6ha	木更津市						127.1									
A'1-1-5	下水道	一般	木更津市	直接	-	汚水	新設	烏田1号幹線枝線整備(未普及解消)	φ200 A=6.0ha	木更津市						136.2									
A'1-1-6	下水道	一般	木更津市	直接	-	汚水	新設	岩根4号幹線枝線整備(未普及解消)	φ200 A=11.5ha	木更津市						260.2									
A'1-1-8	下水道	一般	木更津市	直接	-	汚水	新設	金田西特定土地区画整理事業面整備(未普及解消)	A=20.7ha	木更津市						915.1									
A'1-1-9	下水道	一般	木更津市	直接	-	処理場	増設	木更津下水処理場主ポンプ増設(未普及解消)	P×1台(30m <sup>3</sup> /min)	木更津市						260.0									
A'1-1-10	下水道	一般	木更津市	直接	-	処理場	増設	木更津下水処理場水処理施設増設(未普及解消)	V=24,050m <sup>3</sup> /日	木更津市						108.0									
合計																2,362.8									

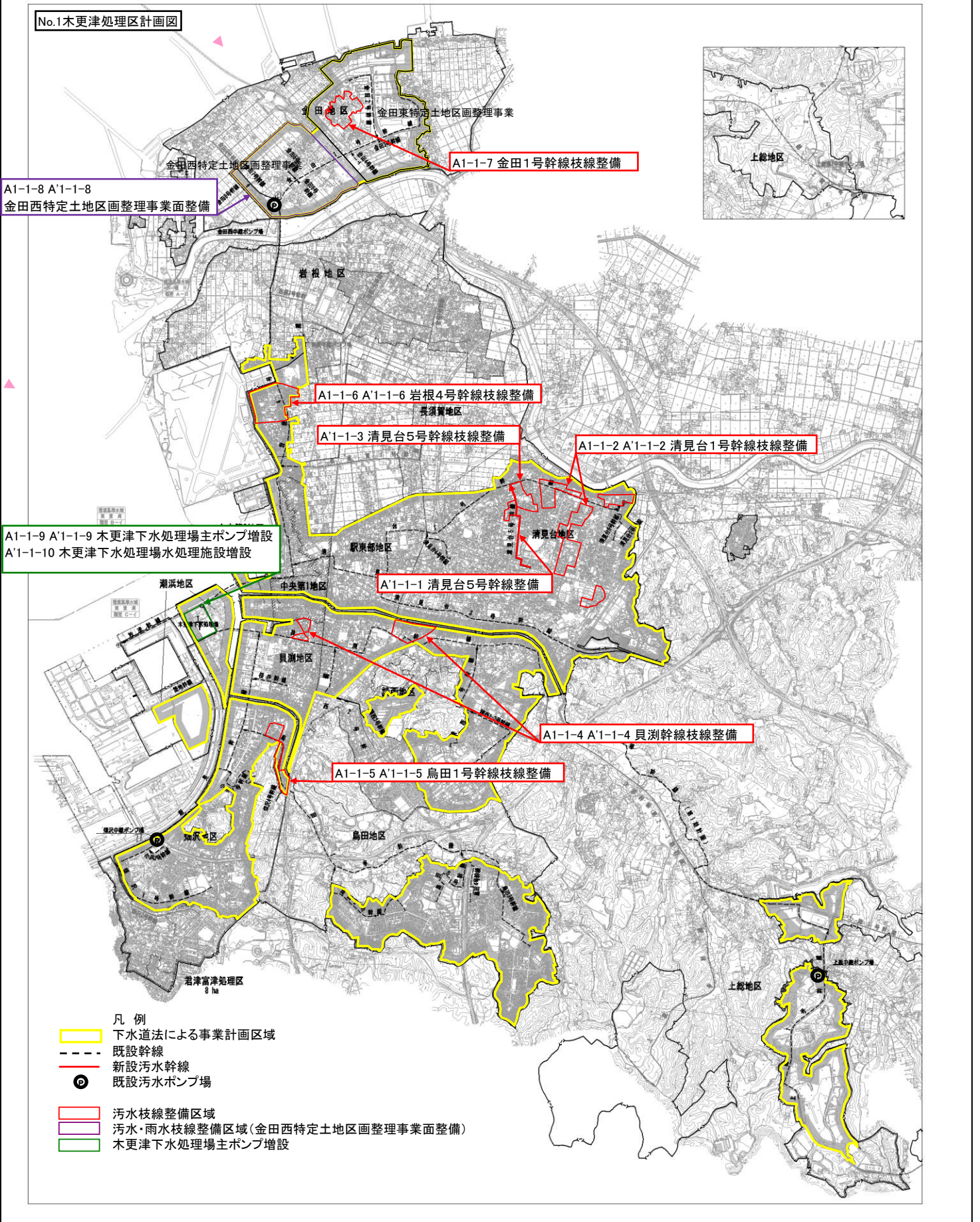
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	120.86	198.184	—	—	—
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	—	—	—
交付額 (c=a+b)	120.86	198.184	—	—	—
前年度からの繰越額 (d)	0	0	—	—	—
支払済額 (e)	120.86	198.184	—	—	—
翌年度繰越額 (f)	0	0	—	—	—
うち未契約繰越額 (g)	0	0	—	—	—
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	—	—	—
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	—	—	—
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由	—	—	—	—	—

(参考図面) 社会資本総合整備計画

計画の名称	1 木更津市における下水道整備による良好な環境の実現	交付対象	木更津市
計画の期間	平成28年度 ~ 平成29年度 (2年間)		



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(下水道事業等タイプ)

計画の名称:木更津市における下水道整備による良好な環境の実現 事業主体名:木更津市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
1) 上位計画等との整合性	
上位計画の「東京湾流域別下水道整備総合計画」と、整合は取れている。	○
2) 地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の適合性)	
金田地区土地区画整理事業の事業計画に合わせた整備及び事業計画区域内の整備の促進を行っている。	○
II. 整備計画の効果・効率性	
1) 整備計画の目標と定量的指標の整合性	
低い普及率の増加を目標としていることから、整備面積の拡大は整合している。	○
2) 定量的指標の明瞭性	
普及率を目標としており明瞭である。	○
3) 目標と事業内容の整合性	
目標である下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造するための、整備を行っており整合している。	○
4) 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	
事業の実施による整備面積の拡大等は、目標を達成するとともに、効果が見込まれる。	○
III. 整備計画の実現可能性	
1) 円滑な事業執行の環境 (事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性)	
説明会を実施し住民等に理解を求め事業を実施している。	○
2) 地元の機運 (住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	
公共下水道整備に対する住民の理解及び協力は得られている。	○